

# 採点処理

～ wncmr初級 ～  
2 0 1 1

wnc develop

## ■はじめに

wncomrは光学式マークカードリーダー(以下OMR)から出力されたデータを採点するためのソフトウェアです。単体では動作させることはできませんので、別途OMR装置とOMRから読み込んだカードをデータ化するソフトウェアが必要です。Scantron(\*1)製のOpScan6(\*1)とScanTools Plus(\*1)の組み合わせでデータ化しています。データ化されているものが一行一人の固定長データであればOCR出力データも可能だと思われます(実機が無いため未確認)。ScanTools(\*1)の旧バージョンで設定する方法は別の解説書をご覧ください。

本書は、wncomrをご使用になる方のために一通りの流れ及び手順を理解していただけるよう作成しています。しかしながら、専門的な用語を使用する場合がありますが意味の分からないところはそのままにして次に進んでください。最後までお読みいただければ採点処理はできるようになると思います。ご不明な点がある場合はコンピュータに詳しい人に教えてもらうのも上達への近道かもしれません。

機能が一部変更になったので5年ぶりに改訂しました(2011/6/30)。

画面の一部にWindows XP(\*1)や2000Proおよび7で実行しているものを使用しています。

説明に使用しているバージョンは1.00.00でWindows Vista(\*1)および7(32bit)に対応しています。

※95系や2000Pro、NT4.0等はOSのサポートが終了しているのでできるだけVista以降のOSを使用することをおすすめします。wncomrは98以降のwindowsで動作するように設計していますが実機テストは2000ProとVistaおよび7(32bit)でのみ行っています。

\*1 登録商標または商標です

## ■ 目次

序章	内部設定	.....	3
第一章	テストの模範解答の作成	.....	4
	各問に対する解答	.....	5
	各問に対する得点	.....	8
第二章	ファイルの指定	.....	10
	入力選択	.....	11
	出力指定	.....	12
第三章	採点	.....	13
	画面上採点	.....	13
	採点スタート	.....	14
第四章	表計算ソフトウェアで読み込む	.....	15
	選択file解除	.....	15
第五章	高度な解答定義	.....	16
	解答番号	.....	16
	解答集の書出	.....	16
	解答集の読込	.....	16
	解答集の初期化	.....	16
	連鎖	.....	17
第六章	各学校固有定義の仕方	.....	18
	TPLエディタ	.....	18
最終章	その他の利用法	.....	21
	単純なコンバータとして	.....	21
おしまいに		.....	22

## ■ 序章 内部設定

### 内部設定とは？

wncomrは各学校固有のOMR出力順にあわせることができます。新規にwncomrを使用する場合は**内部設定の項目**において変更する必要があります。そうしないと全く意図をしない動きをしたり出力データが異常なものになってしまいます。

各シートごとに並び方が違う場合などに対応するためにwncomrは**TPLというテンプレートファイル（内部設定の内容を書いてあるファイル）を読み込む機能**がありますのでそちらを利用の方が簡単に設定できます。本書の第六章にTPLを作成するためのソフトウェア使用法を記しますのでそちらを参照してください。

これから先の章は適切に内部設定を行っているとは想定します。

## ■ 第一章 テストの模範解答の作成

模範解答の定義方法を説明します。wncomr起動後画面の「解答の操作」ボタンを押すと、各問に対する答えを設定できます。マウスをお持ちの方はマウスカーソル（矢印）を解答操作ボタンの上まで移動させ左クリックしてください。キーボードから操作する場合は TABキー（キーボードの種類によりTABと書いていない場合があります）を数回押すと下図のようになります。この状態で スペースキーを押してください（Enterキーでも可）。



← 解答の操作ボタンを選択中の状態（ボタンの内側に点線が入る）

「解答の操作」ボタンを押すと画面に以下のような項目設定を表示します。

wncomr - 正解設定

シート番号: 1    現在操作している解答のコメント(全角20,半角40): ナンバー1 解答集    別シートから取得: 1    取得

解答入力フォーム (半角1文字のみ)

問1	問11	問21	問31	問41	問51	問61	問71	問81	問91
問2	問12	問22	問32	問42	問52	問62	問72	問82	問92
問3	問13	問23	問33	問43	問53	問63	問73	問83	問93
問4	問14	問24	問34	問44	問54	問64	問74	問84	問94
問5	問15	問25	問35	問45	問55	問65	問75	問85	問95
問6	問16	問26	問36	問46	問56	問66	問76	問86	問96
問7	問17	問27	問37	問47	問57	問67	問77	問87	問97
問8	問18	問28	問38	問48	問58	問68	問78	問88	問98
問9	問19	問29	問39	問49	問59	問69	問79	問89	問99
問10	問20	問30	問40	問50	問60	問70	問80	問90	問百

問 1 ~ 100 まで    を入力する

解答を入力して下さい (半角文字で1文字だけ)

**TABキー(またはEnter)を押すと題に移動できます (SHIFT+TABで逆題)**

解答が入力できたら下のボタンを押して下さい (点数をきめます)

点数設定に進む >>    定義保存: 開じる    キャンセル

画面にこのフォームが表示していることを確認してください。

## 各問に対する解答

問は100問まで定義することができます。使用できる文字は半角文字で

```
0123456789
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
+-*/
-
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヅン
アイウエオヤユョツ
```

などが使用できます。しかしながらOMRから出力確認できている文字は**英数字のみ**でカタカナについては確認がとれていません。

空白文字は混乱を招くおそれがあるので使用しない方が無難です。

また、**英文字の大文字小文字は区別します**ので注意してください。

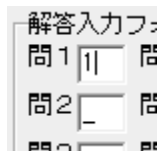
例えば、今回採点するテストが10問しかない場合は問11から問100までどうすればよいかというとそこにはダミーの文字を入れます。初期状態では    が入っていますが気になる場合は違う文字に変えてください。**配点で問11から問100までを0点にしておけば関係なくなります**ので気にする必要はありません。

ここでは仮に問1から問10までで、1234512345と正答がなっているとして入力してみます。



現在画面では問1を選択していると思いますのでここでキーボードの 1 を押してみてください。

←変更前



←変更後

もし左のような入力ができない場合は**漢字入力**(Alt+半角全角 or Ctrl+XF ER)になっているか、**かな入力**になっていることが考えられます。必ず英数半角入力にしてから入力してください。次の問に進めるためにキーボードの TAB キーを押してください（キーボードの種類によっては TABと書いていない場合があります）。

※次ページに続く

←問 1 入力後 TABキーを押した状態（問 2 を選択している状態）

TAB キーを押すと左のように次の問に進むことができます。では、反対に前の問に戻る場合はどうすればよいのでしょうか？それは、Shiftキーを押しながら TABキーを押せばよいのです。そうすると前の問に戻ります。  
では、問 1 から問 10 までを1234512345の順に入力してみます。

問 1 はもう入力できていると思いますので問 2 を入力します。問 1 から TAB キーを押すと問 2 に移りますので問 2 が選択している状態にしてください。次にキーボードから 2 を入力します。入力したら TABキーを押します。このように繰り返して問 10 まで入力してください。

←問 1 から問 10 まで入力が完了した状態  
（問 10 入力後 TABキーを押した状態）

この模範解答にちょっとした説明を付けることができます。画面上方の「**現在操作している解答のコメント**」の下にある文字が入力できる枠がありますのでそこに入力してください。ここに入力したコメントは採点処理後の出力データにもつけられますのでわかりやすい説明をつけてください。

初期状態ではコメントは解答番号にあわせたコメントになっています。

（左の図は初めて起動した場合）

マウスをお持ちの方はマウスポインター（矢印）をナンバー1 解答集の文字上に移動させ左クリックしてください。そうすると文字の変更ができるようになります。ここではコメント名を sample1 と入力してみます。

（英数字または漢字を入力することができます）

キーボードから操作する場合は TABキーを何回も押すと左の図のようになりますのでこの状態から sample1と入力してみてください。


← sample1と入力した場合の図

解答入力が終わったら次は各問に対する点数を決めます。

解答が入力できたら下のボタン

点数設定に進む >>

解答入力の画面下方に「点数設定に進む >>」ボタンがありますのでマウスをお持ちの方はこのボタンの上で左クリックしてください。キーボードから操作するには先ほどのコ

メント入力と同じように TABキーを何回も押すと  になりますのでこの状態で スペースキーを押してください (enterキーでも可)。

**wncomr - 配点設定**

シート番号  現在操作している解答名  別シートから取得   合計点数

点数入力フォーム

問1	<input type="text" value="0"/>	問11	<input type="text" value="0"/>	問21	<input type="text" value="0"/>	問31	<input type="text" value="0"/>	問41	<input type="text" value="0"/>	問51	<input type="text" value="0"/>	問61	<input type="text" value="0"/>	問71	<input type="text" value="0"/>	問81	<input type="text" value="0"/>	問91	<input type="text" value="0"/>
問2	<input type="text" value="0"/>	問12	<input type="text" value="0"/>	問22	<input type="text" value="0"/>	問32	<input type="text" value="0"/>	問42	<input type="text" value="0"/>	問52	<input type="text" value="0"/>	問62	<input type="text" value="0"/>	問72	<input type="text" value="0"/>	問82	<input type="text" value="0"/>	問92	<input type="text" value="0"/>
問3	<input type="text" value="0"/>	問13	<input type="text" value="0"/>	問23	<input type="text" value="0"/>	問33	<input type="text" value="0"/>	問43	<input type="text" value="0"/>	問53	<input type="text" value="0"/>	問63	<input type="text" value="0"/>	問73	<input type="text" value="0"/>	問83	<input type="text" value="0"/>	問93	<input type="text" value="0"/>
問4	<input type="text" value="0"/>	問14	<input type="text" value="0"/>	問24	<input type="text" value="0"/>	問34	<input type="text" value="0"/>	問44	<input type="text" value="0"/>	問54	<input type="text" value="0"/>	問64	<input type="text" value="0"/>	問74	<input type="text" value="0"/>	問84	<input type="text" value="0"/>	問94	<input type="text" value="0"/>
問5	<input type="text" value="0"/>	問15	<input type="text" value="0"/>	問25	<input type="text" value="0"/>	問35	<input type="text" value="0"/>	問45	<input type="text" value="0"/>	問55	<input type="text" value="0"/>	問65	<input type="text" value="0"/>	問75	<input type="text" value="0"/>	問85	<input type="text" value="0"/>	問95	<input type="text" value="0"/>
問6	<input type="text" value="0"/>	問16	<input type="text" value="0"/>	問26	<input type="text" value="0"/>	問36	<input type="text" value="0"/>	問46	<input type="text" value="0"/>	問56	<input type="text" value="0"/>	問66	<input type="text" value="0"/>	問76	<input type="text" value="0"/>	問86	<input type="text" value="0"/>	問96	<input type="text" value="0"/>
問7	<input type="text" value="0"/>	問17	<input type="text" value="0"/>	問27	<input type="text" value="0"/>	問37	<input type="text" value="0"/>	問47	<input type="text" value="0"/>	問57	<input type="text" value="0"/>	問67	<input type="text" value="0"/>	問77	<input type="text" value="0"/>	問87	<input type="text" value="0"/>	問97	<input type="text" value="0"/>
問8	<input type="text" value="0"/>	問18	<input type="text" value="0"/>	問28	<input type="text" value="0"/>	問38	<input type="text" value="0"/>	問48	<input type="text" value="0"/>	問58	<input type="text" value="0"/>	問68	<input type="text" value="0"/>	問78	<input type="text" value="0"/>	問88	<input type="text" value="0"/>	問98	<input type="text" value="0"/>
問9	<input type="text" value="0"/>	問19	<input type="text" value="0"/>	問29	<input type="text" value="0"/>	問39	<input type="text" value="0"/>	問49	<input type="text" value="0"/>	問59	<input type="text" value="0"/>	問69	<input type="text" value="0"/>	問79	<input type="text" value="0"/>	問89	<input type="text" value="0"/>	問99	<input type="text" value="0"/>
問10	<input type="text" value="0"/>	問20	<input type="text" value="0"/>	問30	<input type="text" value="0"/>	問40	<input type="text" value="0"/>	問50	<input type="text" value="0"/>	問60	<input type="text" value="0"/>	問70	<input type="text" value="0"/>	問80	<input type="text" value="0"/>	問90	<input type="text" value="0"/>	問100	<input type="text" value="0"/>

問   ~   まで   点を入力する

**各問いに対する点数を入力して下さい(半角文字で0~99)**

点数が入力できたら下のボタンを押して下さい

**TABキー(またはEnter)を押すと順に移動できます(SHIFT+TABで逆順)**

上記の図は各問に対する配点を設定するためのフォームを表示している状態です。



## 各問に対する得点

点数入力フォーム	
問1	0
問2	0
問3	0

正解設定で入力が終わったらその画面の「**点数設定に進む >>**」を押してください。押すと画面に配点設定を表示します。

問1から入力するために左図のように問1を選択している状態にしてください。もしなっていなければTABキーを何回も押すと問1を選択している状態になります。

ここでは問1から問10までを各2点とします。正答を設定したときと同じように**英数半角**で2を入力します。問1の入力が完了したらTABキーを押します。このようにして問10まで入力してください。

点数入力フォーム	
問1	2
問2	2
問3	2
問4	2
問5	2
問6	2
問7	2
問8	2
問9	2
問10	2
問11	0
問12	0
問13	0
問14	0
問15	0
問16	0
問17	0
問18	0
問19	0
問20	0

←問10まで入力した後TABキーを押した状態

(問11を選択している状態)

配点はすべて**半角文字**で0～9までが入力できます。その他の文字を入力するとその部分は配点設定画面を閉じた後0点に書き換えます。

配点が完了したら画面右上の合計点数をみてください。ここに配点で決めた点数の合計点を表示します。問1から問10までを2点にした場合合計点数は20点になります(問11から問100までは0点になっている場合です)。

これで問1から問10までの設定が完了しました。

合計点数
20

マウスをお持ちの方は「**解答定義を有効にして閉じる**」ボタンを押してください。そう

**解答定義を有効にして閉じる**

すれば解答として登録が完了します。キーボードから選択する場合はTABキーを何回も押すと

右図のようになりますのでこの状態でスペースキーを押してください(Enterキーでも可)



**解答定義を有効にして閉じる**



## ■ 第二章 ファイルの指定

ここままで、一応模範解答及び配点が決まっていると想定して進めます。

採点処理を行うには解答定義のほかにOMRから出力したデータが必要です。また、採点処理後のデータを保存するファイルも必要になります。ここではファイルの指定について説明します。

採点したいデータが入っているファイル名と場所	
 入力選択	OMRの出力フォルダにあるファイルを選択してください
(入)未	
採点した結果を保存するファイル名と場所 (csv形式, 拡張子も同じ)	
 出力指定	(出1)ox込一覧表 , (出2)点数と名前のみ ※(出2)は(出1)に_点名限を自動追加
(出1)未	
(出2)未	

現在このような状態になっていると思います。

(解答の操作ボタンなどがあるフォームのことです)

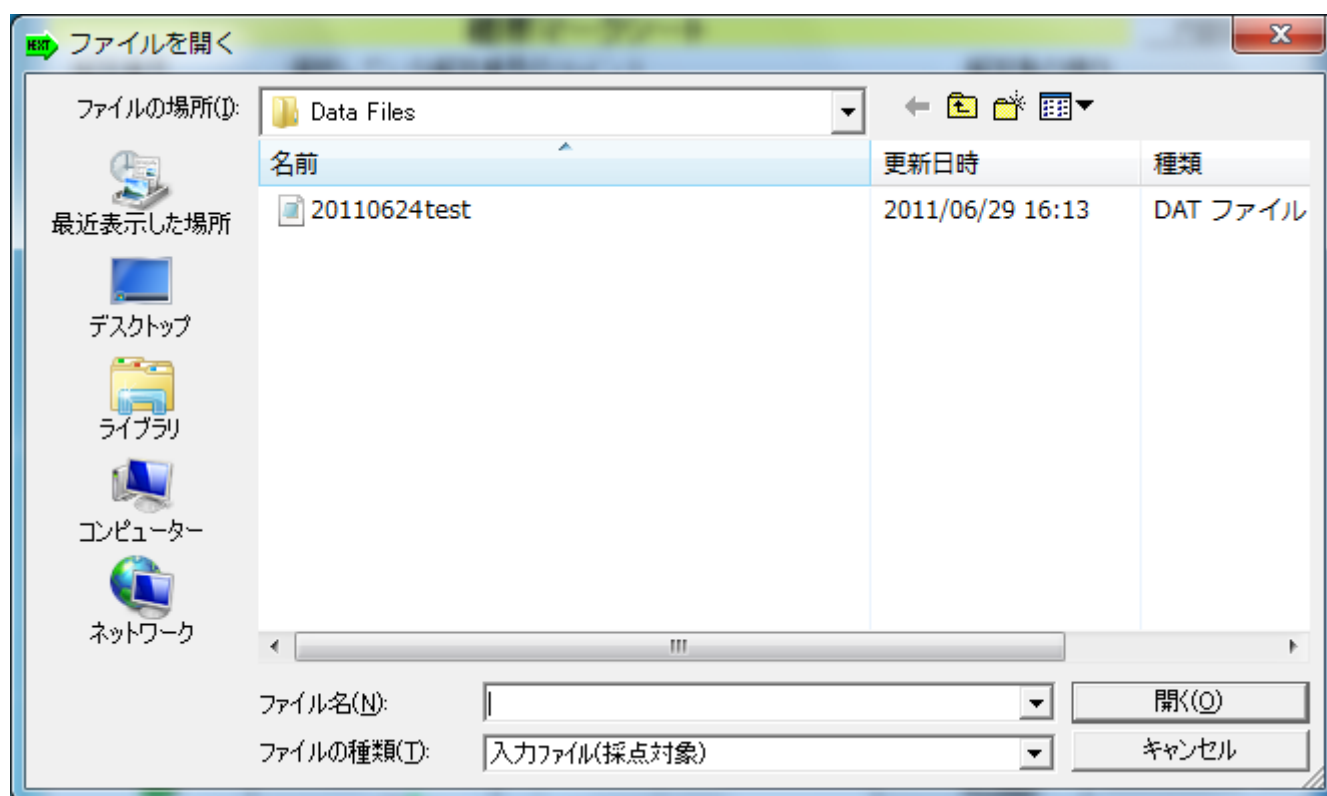
## 入力選択

まずはじめにOMR処理ソフトウェアから出力されたファイルを選択します。

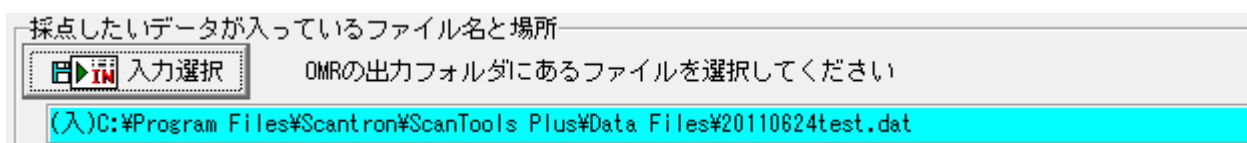


「入力選択」を押してください。

※ボタンの押し方がわからない人は第1章を復習してください  
押すとファイル選択になります。




20110624test.datに処理したいデータが入っているとします。この場合20110624test.datを選択します。ファイルを選択したら 開く ボタンを押します。



先ほど未選択だった 入力選択 ボタンの下側の枠に選択しているファイル名を表示します。この場合は ドライブ C の ¥Program Files¥Scantron¥ScanTools¥Data Files フォルダにある 20110624test.datを示しています。

**説明：** OMRから出力したデータを指定します。wncomrはScantron製OpScan対応のScanToolsから出力データが入力可能です。その他のメーカー製ソフトウェアでは確認していません。ScanToolsの場合はそれをインストールしたフォルダの中にあるData Filesに入っていると思います。そのファイルを選択してください。

## 出力指定



 出力指定

入力ファイルを選択したら「出力指定」ボタンを押してください。このボタンでは採点結果を保存するファイル名を指定します。**すでに存在するファイルに書き込むと上書きになり追加保存ではありませんので注意してください**。

この出力（出1）は各問一つ一つに対する点数が書き込みます。

（出1）のファイル名に \_点名限 を追加したものを（出2）に自動で指定します。この（出2）には名前や番号と合計点数が入る簡略版です。従来は出力2を指定する必要がありましたが、v1.00.00からなくなりました。また、両方とも拡張子はcsvです。

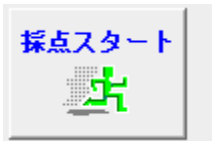
出力指定に sample1とつけてデスクトップに保存するよう指定した場合は以下のようになります。

採点したいデータが入っているファイル名と場所	
 入力選択	OMRの出力フォルダにあるファイルを選択してください
(入)C:\Program Files\Scantron\ScanTools Plus\Data Files\20110624test.dat	
採点した結果を保存するファイル名と場所（csv形式、拡張子も同じ）	
 出力指定	（出1）ox込一覧表，（出2）点数と名前のみ ※（出2）は（出1）に <u>_点名限</u> を自動追加
(出1)C:\Users\itcenter\Desktop\sample1.csv	
(出2)C:\Users\itcenter\Desktop\sample1_点名限.csv	

これでファイルの入力選択と出力指定は完了です。



## 採点スタート

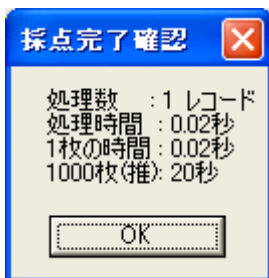


採点スタートボタンを押すと解答定義をもとに一人ずつ採点をします。一人ずつといっても一秒間に約1000人採点できるのでわずかな時間で完了します。



採点スタートボタンを押すと左図のような確認が現れますので開始する場合は「はい」を押してください。

※「いいえ」を押すと中止します



採点が完了すると左図のような採点完了確認を表示します。ここで使用している20110624test.datには1レコード（一人）分入っていますので処理数は1レコードになっています。

※採点中にESCキーを押すと途中で中止することができます

ここまでの採点処理です。

## ■ 第四章 表計算ソフトウェアで読み込む

ここでは、今までの章で行ってきたことがすべて終了していると仮定して進めます。

Excelや三四郎などの表計算ソフトウェアでは CSV形式 または テキスト形式 が読み込めると思います。wncomrが出力するファイルもこの形式です。表計算ソフトウェアなどで読み込むときにこの形式を選択した後、さらに区切り文字を聞いてくる場合がありますが、この場合は 、区切りまたはカンマ区切り を指定してください。それで採点処理が終わったファイルを開くことができます。出力指定の(出1)(出2)は先に述べた方法で読み込むことができます。(出1)(出2)は両方ともCSV形式のファイルです。

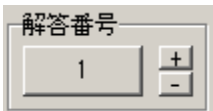
※v0.00.05までは(出2)に相当するファイルの拡張子がascでしたがv1.00.00から仕様を変更しました。



## ■ 第五章 高度な解答定義

この章はより便利に使用する場合にお読みください。なお、今までの章の内容が一通り理解できているとして話を進めます。

### 解答番号



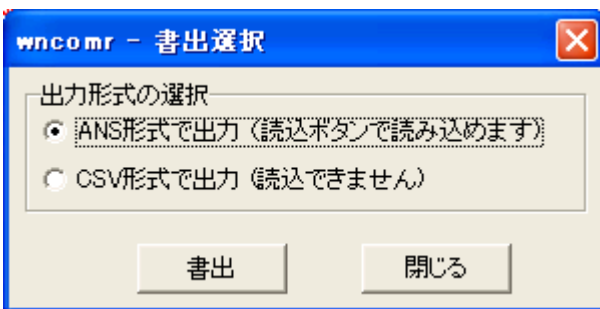
模範解答は一度に9セット(wncomr.cfgに保存)作ることができます。解答番号を変更すればその番号のシートごとに解答を作成できます。

「+」ボタンで次のシート番号へ、「-」ボタンで前のシート番号に変更します。

### 解答集の書出

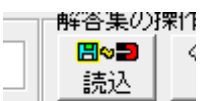


模範解答は一度に9セット作れますが、これをさらに**解答集**としてファイル名をつけて保存することができます。そうすればほぼ無制限に模範解答を作成できます。この場合は**ANS形式で出力を選択してください**。その



後、書出ボタンを押すとファイルに出力することができます。また、CSV形式で出力を選択した場合に出力する形式は表計算ソフトウェアなどで直接読める形式ですので確認に使用できます。  
※CSV形式で出力した解答集は解答集の読込ボタンで読み込めません。

### 解答集の読込



「**解答集の書出**」(ANS形式で出力)で出力した解答集ファイルを読み込むことができます。読み込むとその前にあった模範解答は消滅しますので注意してください

### 解答集の初期化



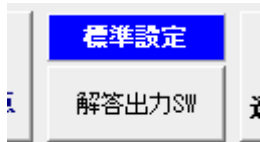
新規の模範解答を作成する場合に押してください。解答番号1から9番までの模範解答を初期化します。

## 連鎖



wncomrでは連鎖が必要な解答に対応できるように設計しています。  
連鎖についてはwncomr説明書をご覧ください。  
(連続する間に対して AND OR が使用できます)

## 解答出力SW



コンバートなどで使用する場合に押します。くわしくは説明書をご覧ください。

この書では高度な使用法について詳細を記載していません。詳しく知りたくなったら標準で添付しているwncomr説明書をご覧ください。解説していない部分や細かい機能の説明をしています。

## ■ 第六章 各学校固有定義の仕方

### TPLエディタ

TPLエディタを使用すると内部設定の項目で読み込めるTPLファイルという定義ファイルを作成することができます。標準添付のWTPLEDITを使用すれば簡単に作成できます。新規にwncomrを使用する方はまずWTPLEDITで独自の内部設定を作成してください。TPLファイルとして保存していれば、別の本体に移動する場合もTPLファイルをコピーして内部設定で読み込めば簡単に設定できます。

WTPLEDITを起動したときの画面

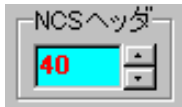
The screenshot shows the 'wncomr TPL edit' window. At the top, a blue banner reads '用途にあわせて値を変更してください' (Please change values according to the purpose). Below this, there's a status bar indicating '採点dat 未読込' (Scoring data not loaded) and '位置/規模?' (Location/Scale?). A checkbox for '固定' (Fixed) is present. The main area contains several input fields for NCS headers: '学年' (Grade) set to 42, '科' (Subject) set to 43, '組' (Group) set to 44, '番号' (Number) set to 45, '氏名' (Name) set to 47, and '性別' (Gender) set to 71. Below these are eight '予備' (Preparation) fields, each with a value of 40 and a '使用' (Use) checkbox. At the bottom left, '問の位置・数' (Question position/number) is set to 72 and 100. The bottom right section is for '作成者情報' (Creator information), including fields for '作成者' (Creator), '会社名' (Company name), and '説明' (Description). A 'Reset' button is also visible. The bottom of the window features three large buttons: 'TPL読込' (Load TPL), 'TPL保存' (Save TPL), and '終了' (Exit).

例えば、T980421.datというOMR処理ソフトウェアから出力したファイルがあり、その中身は以下の1レコードが入っているとします。

```
602000001001042198001 5313 #0001 N __3M114HAHIFUHE__HO_____M4869532
21324153B5916728X3EEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEE
```

※都合上2行にまたがっていますが、本来1行で存在しています。

先頭から40byteは制御コードですのでNCSヘッダは40のままにします。



※バージョンにより42バイトの時もありますが、OMR処理ソフトウェアの設定を40バイトにしてください。

学年	科	組	番号	氏名	性別
42	43	44	45	47	71
1	1	1	2	24	1

これは、各学校ごとに異なると思いますので変更が必要です。

学年は黄緑色で42と水色で1となっていますが、これは黄緑色は先頭からの位置を示し、水色はそこからの大きさをあらわしています。T980421.datの行先頭から42番目は3が入っていると思います。次に科・組・番号・氏名・性別をみてみます。

それぞれ、M 1 14 HAHIFUHE\_\_HO\_\_\_\_\_ M ということになります。

問の位置・数	
位置	72
問題数	60

問の位置・数は行先頭から72番目から問1が始まることを意味し、60は問題数をあらわしています。

変更が終了したら作成者と会社名および説明をいれてください。

例えばこんな風に →

保存	
	終了

完成したら、「保存」ボタンを押して名前を付けて

保存し、「終了」ボタンを押してください。これであなたの学校固有のTPLが作成できました。

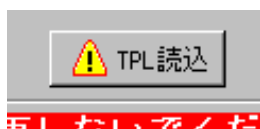
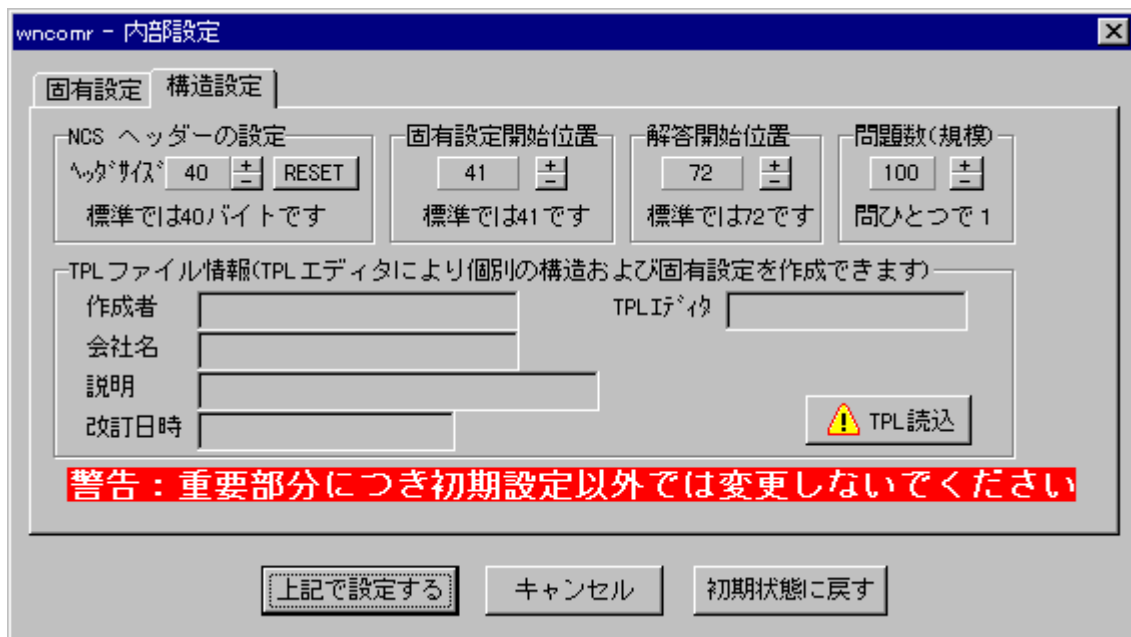
※保存せずに終了すると設定した状態が消えてしまいます。

作成者情報	
作成者	猫目 猫造
会社名	CAT学園高校
説明	CAT学園専用標準1

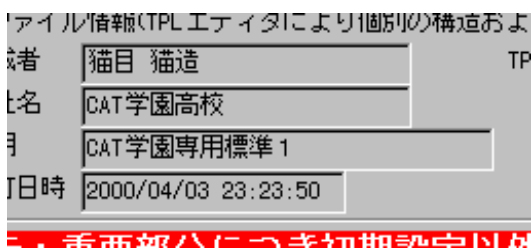
TPLファイルが完成しましたが、これではまだwncomrに反映することはできません。wncomrを起動して先ほど完成したTPLファイルを読み込ませます。



TPLファイルを読み込ませるところは、内部設定にあります。「内部設定」ボタンを押してください。



「TPL読み込」ボタンを押してください。そうするとファイルを選択する画面になりますので先ほど保存したTPLファイルを選択します。



読み込が完了すると作成者・会社名・説明が組み込まれます。これでTPLファイルを組み込むことができました。「上記で設定する」ボタンを押すと完了です。

## ■最終章 その他の利用法

### 単純なコンバータとして

wncmrには予備という項目があり、予備は1から8まであります。これを利用することにより単純な変換ソフトウェアとして使用することができます。TPLエディタでその使用の有無を指定できるのでTPLファイルとして作成しておけば、解答処理以外に簡単に対応することができます。

### TPLエディタでの予備設定

予備1	予備2	予備3	予備4	予備5	予備6	予備7	予備8
40	40	40	40	40	40	40	40
2	2	2	2	2	2	2	2
<input type="checkbox"/> 使用	<input type="checkbox"/> 使用	<input type="checkbox"/> 使用	<input type="checkbox"/> 使用	<input type="checkbox"/> 使用	<input type="checkbox"/> 使用	<input type="checkbox"/> 使用	<input type="checkbox"/> 使用

予備を使用する場合は ☐ 使用 にチェックを入れて ☒ 使用 のような状態にしてください。

## ■おしまい

今回制作するに当たって、OMRが最新のものに變更されたのでwncomrも気になるところを改造することにしました。また、Windows 7(32bit)に接続することになったのでコンパイラも従来のC++BuilderからTurboC++2006Expに變更しました。この説明書もそれに併せて變更しています。

採点処理 wncomr初級

平成24年1月23日

(C)2012 wnc / t.w.

本書の製作は2011年です。

本書に不備ならびに誤植がある場合があります。